

中学生がニュージーランドへの架け橋に



クライストチャーチ空港にて

市の中学生海外派遣事業「かまいしブリッジプログラム」により、市内の中学生15人が3月16日から25日までの10日間、ニュージーランドを訪問しました。ラグビーが盛んで、震災からの復興途上にあるなど本市と類似する現地で、生徒たちが体験したホームステイや学校生活、学生との交流の様子など、足跡を紹介いたします。

渡航前・事前研修（平成25年11月14日～3月13日）

参加した中学生たちは、全14回行った事前研修で主に次の4つについて学び、渡航に備えました。

- ①英会話学習
自分や家族の紹介だけでなく、学校やホームステイ先でのコミュニケーションの方法を学びました。また、日本特有の文化や食生活、釜石の郷土芸能や特産物などを英語で説明できるように練習しました。
- ②ニュージーランド生活の注意点
外国での貴重品管理、スリなどへの安全対策、体調管理につ

いて学びました。また、前年度の研修生から体験談を聞くことで、日本とニュージーランドの文化やマナーの違いを知り、不安を解消しました。

- ③プレゼンテーション準備
現地で釜石を紹介するプレゼンテーションとして、「釜石について」「釜石ラグビーについて」「震災体験」「震災後の復興への取り組み」の4テーマについて、英語で20分行う練習を重ねました。
- ④チームワーク強化プログラム
現地でのセレモニーで発表する出し物やダンスを練習し、みんなので一つのものを作りあげる楽しさを実感しました。また、



クライストチャーチ市内にある地震で倒壊した建物



見た人が楽しい気持ちになるよう描かれた壁画



原住民マオリ族スタイルで行われた歓迎会



約5万人収容のイーデンパークスタジアムを見学

釜石市中学生海外派遣事業 平成25年度かまいしブリッジプログラム

期日	旅程・研修内容など
11/14～3/13	事前研修（全14回）
1日目 3/16日	釜石駅出発～移動～成田空港から出国（機内泊）
2日目 3/17日	ニュージーランド入国、オークランド市内見学（オークランド市内ホテル泊）
3日目 3/18日	クライストチャーチへ移動、市内視察 合同歓迎交流会、ホストファミリーと合流（ホームステイ）
4日目～6日目 3/19日～3/21日	現地の学校へ登校、授業・課外活動体験、現地学生と交流 クライストチャーチ市長表敬訪問、プロラグビーチーム練習見学、自然体験活動、送別会など（ホームステイ3泊）
7日目 3/22日	アカロア湾クルーズ、キャンプ、プレゼン発表（キャンプサイト）
8日目 3/23日	クライストチャーチ→オークランドへ移動 研修のふりかえり（オークランド市内ホテル泊）
9日目 3/24日	ニュージーランド出国～空路～成田空港 帰国（東京都内ホテル泊）
10日目 3/25日	ニュージーランド大使館表敬 東京駅～移動～釜石駅着・解散
3/26日	事後研修・市長へ報告

東日本大震災の前に二度の地震に見舞われながら、当市に支援をいただいたクライストチャーチの皆さんに対する感謝のメッセージを寄せ合いました。

渡航研修：3月16日～25日
いよいよニュージーランドへ

●1日目【3月16日】
午前7時30分、研修生は不安と期待の表情で、保護者に見送られ釜石駅前をバスで出発。やがて、午後6時過ぎに成田空港から空路9000キロ離れたニュージーランドに向け離陸しました。（機内泊）

●2日目【3月17日】
約11時間のフライトを経て、無事ニュージーランドのオークランドに到着。ニュージーランドで開かれた2011年ラグビーワールドカップの試合会場となった「イーデンパークスタジアム」を見学しました。隅々まで青々とした深い天然芝、通常立ち入りできない選手用ロッカールームやラウンジに触れた研修生たちの興奮は高まりました。

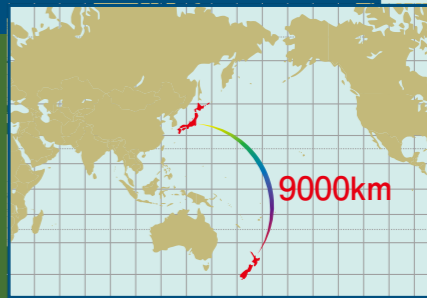
●3日目【3月18日】
オークランドからクライストチャーチへ移動。2010年9月と2011年2月の二度にわたり大地震に見舞われたクライストチャーチの市街地には、地盤沈下や液状化、復旧工事の箇所が多く見受けられ、災害の爪痕が今なお大きく残り、研修生たちは復興の途上にあることを肌で感じました。

夕方、歓迎会が行われ、ホストファミリーやバディ（ホストファミリーの中で研修生を世話してくれる同年代の子）と対面。いよいよこの日からホームステイ（4泊）の始まりです。

●4日目【3月19日】～
●5日目【3月21日】
研修生たちは、それぞれホームステイ先からバディと共に学校へ登校し、授業に参加しました。学校へのおやつを持ち込み、授業中の飲食、床やクッションに座っての授業…研修生たちは日本とは異なる学校生活に戸惑いながらも、興味津々で楽しみました。

クライストチャーチの紹介

ニュージーランド南島の中部に位置する都市で人口は約34万人。国内では2番目、南島では最大の人口を有する。
西岸海洋性気候で一年を通して温暖な気候。南島観光の拠点であり、酪農、畜産、農業も盛ん。
英国からの入植の歴史（1840年代）から、街には英国の面影が色濃く残り、ゴシック建築の建造物が多い。また、スーパーラグビーに参戦するラグビーの名門チーム「クルセイダース」の本拠地でもある。
日本では岡山県倉敷市と姉妹都市の関係にある。
なお、東日本大震災前の2010年9月、2011年2月と二度にわたる大規模地震で大きな被害を受けており、復興の途上にある。





帰国後にニュージーランド大使館を表敬



お世話になったホストファミリーとお別れ



送別会では事前研修で練習した踊りを披露



現地の学校での授業体験の様子



渡航研修を終えて～研修生の声～

※学年は渡航時

やればできる！
英語で
コミュニケーション

甲子中学校（2年）
菅原 由暉くん

この研修で一番変わったのは英語力だと思っています。ニュージーランドに行った当初、何を言われているのかわからず、英語を話すこともできませんでした。それでも、2日目、3日目と日を追うごとにヒアリングができるようになっていきました。コミュニケーションがとれるようになりました。しだいに学校の授業はおもしろくなり、

ホームステイ先ではバディとバスケットボールをしたりハンバーガーショップに出かけたり…とても楽しかったです。英語力がついたおかげで、ハンバーガーを食べながら現地の同世代の人たちと色々な話ができて貴重な思い出になりました。研修は自分を変えるきっかけになりました。

自分に厳しくやりとげる
自信が身に付いた

釜石中学校（1年）
正木 佑歩くん

事前研修での英語プレゼンの準備が難しく苦労しましたが、それがあったからこそニュージーランドで多くの楽しい思い出を作ることができ、自信にもつながりました。今後も「やめた」「あきらめよう」と思っても、自分に厳しくやっていきたいと思っています。現地では最初、正直学校に行きたくないと思いましたが、最終日は行きたい気持ちでした。日本の学校と

異なり、ニュージーランドでは午前10時30分と12時の2回昼食があることに驚きました。ホストファミリーの家ではバディと遊んだり、ラグビーやボクシングの練習を見に行ったりとても楽しい3日間を過ごしました。研修を通じ、自主的にいろいろなことに取り組めるようになった気がします。

みんなに支えられて
成長できたことを実感

大平中学校（1年）
川端 真有さん

初めての海外で不安もたくさんありましたが、英語はゆっくり、分かるまで話してくれて、最後はホストファミリーや学校のみんなどの別れがつかうかったです。でも、「次は家族を連れてまたうちに来てね」と言われ、とてもうれしかったです。これからも交流を続けたいです。クライストチャーチの町中はカラフ

ルで楽しそうな印象でした。コンテナの店もたくさんあり、二度の大地震で被災しているにもかかわらず元気が感じられました。釜石も同じように、カラフルに明るく、もっと元気で楽しいまちになってほしいです。研修に参加したみんな、引率者の皆さん、家族や先生方の支えで成長できたことに感謝します。

平成25年度中学生海外派遣事業
参加者一覧

氏名(ふりがな)	学校	学年(※)	性別
川端 真有 (かわばた まある)	大平中学校	1	女
佐々木 七海 (ささき ななみ)		1	女
佐藤 朱里 (さとう しゆり)		1	女
藤井 大樹 (ふじい だいき)	釜石中学校	1	男
正木 佑歩 (まさき ゆうほ)		1	男
伊東 怜 (いとう れん)		2	男
岩間 未紗 (いわま みさ)		2	女
太田 圭香 (おおた よしか)		2	女
金澤 直哉 (かなざわ なおや)		2	男
佐藤 和 (さとう なごみ)		2	女
宮澤 咲帆 (みやざわ さほ)		2	女
川崎 杏優 (かわさき あゆ)		1	女
洞 和輝 (ほら かずき)		1	男
川村 直輝 (かわむら なおき)	甲子中学校	2	男
菅原 由暉 (すがわら よしき)		2	男

※学年は渡航時

7日目【3月22日】

キャンプサイトへ移動。研修生たちは自然にラグビーに興じ、バディとアーチェリーや現地の遊びを楽しみ、夕食はパーベキュー。夜は釜石を紹介するプレゼンテーションを行います。

市長を表敬、感謝のメッセージを手交し3月19日、▼プロラグビーチーム「クルセイダース」の練習見学し3月20日、▼ワイローバンク動植物園を見学し3月21日、▼送別会し3月21日

8日目【3月23日】

バディ、ホストファミリーとお別れの日。「またおいで」の温かい言葉、涙で抱き合う研修生とホストファミリーなど、別れを惜しむ光景が見られました。午後にはオークランドへ移動し、夕食後に研修のふりかえりを行い、各ホームステイ先や学

校の様子、体験談、研修前後の心境の変化などを報告しあいました。

9日目【3月24日】

日本に帰国する日。研修生たちから「帰りたいくない」「もっとニュージーランドにいたい」…などの声が聞かれる中、飛行機はオークランド国際空港を離陸。2回の機内食を済ませ、午後5時ころ無事成田空港に着陸。都内のホテルへと向かいました。

10日目【3月25日】

都内にあるニュージーランド大使館を訪問し、大使に研修のお礼と報告。研修を通じ英語での会話もすっかり板に付き、研修生たちがとても頼もしく見えます。

その後、電車、バスなどを乗り継いで、午後7時ころに家族が待つ釜石駅前に到着・解散しました。

釜石市中学生海外派遣事業

問い合わせは、市スポーツ推進課(☎22-800000)へ。